

「継続は力なり」

株式会社カマハラ鋳鋼所

総務部次長 岡本 賢一朗 氏



はじめに、新型コロナウイルスの影響を受けられた皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

一日も早い新型コロナウイルス感染症の終息と、皆さまのご健康をお祈り申し上げます。

昨年度より労務者管理協議会に参加させて頂いております、(株)カマハラ鋳鋼所の岡本と申します。若輩者ではございますが、労務者管理協議会を共に盛り上げて行けるよう尽力して参ります。

さて、この度はメンバーリレーの執筆の機会を頂き、ありがとうございます。先にも述べた通り、私は経験も少なく、労務管理について語れることもあまり多くないので、今回は私の趣味を存分に語らせていただきます。

【3時間9分10秒】

これは、私が今年走った高知龍馬マラソン 2020 の完走タイムですが、まさに「継続は力なり」という言葉を実感することができました。

マラソンは、スタートからゴールまで絶えず自分との闘いが繰り返されるスポーツです。しんどい、きつい、歩きたいという気持ちに加え、身体の至るところが痛みだすなど、自分の中の限界と向き合いながら、ゴールを目指すこととなります。これに打ち勝つには、日々の鍛錬を重ね、惜しみなく努力をすることが重要になります。某スポーツ選手の言葉に「夢や目標を達成するには一つしか方法はない。小さなことを積み重ねること。」とあります。マラソンにおいて、この「小さなことを積み重ねる」という部分が「走り続ける努力をすること」と私は解釈しました。雨の日も風の日も少しでも走る事を止めない。そうすることで自分に打ち勝つ術を見い出して行きました。面白いもので回を重ねる毎に完走タイムは伸びて行きます。これもマラソンの醍醐味の一つではないでしょうか。私は決し

て足が速かったわけでもなく、スポーツ全般において、これとって取り柄もなく、走る事においても、初めは3キロ走ることもまともにできませんでした。が、「小さな積み重ね」は必ず結果に繋がります。その証明として、第一回の高知龍馬マラソンは、4時間12分で完走、翌年は3時間55分、翌々年は3時間45分というように回を重ねる毎に結果は変わって行きました。但し、チャレンジには失敗が付き物というように、前年の結果を上回ることが出来ないこともありました。その場合は、なぜその結果になったのか自分なりに研究し、解決するよう心掛けました。企業の中ではこれをPDCAサイクルと呼びますが、これを自分にも実践し、習慣化してゆきます。この過程において、あきらめない事、耐えず努力する事、それを継続する事が何よりも重要で、これらが自分自身を強くするためのファクターとなり、結果として自分が求める目標へと近づけることが出来ます。このような背景があるからこそ、マラソンというスポーツにおいて、継続した努力がゴールテープをきった時の達成感へと繋がり、様々な人を魅了してゆくのではないのでしょうか。

諸先輩方に私からアドバイスなど、大それたことは言えませんが、何かと自粛ムードがついて回る今だからこそ、一人で始められるスポーツ等を通して身体を動かし、自分自身と向き合ってみてはいかがでしょうか。というより、マラソンを始めてみませんか。(笑)

最後になりますが、趣味においても仕事においても「継続は力なり」です。努力することはきっと無駄にはならないということをお心掛け、日々精進して参りたいと思っています。

これからも労務管理者協議会を通して、皆さまと共に貴重な経験をさせていただければと思っておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。